

2023年10月9日 フランス・コロンブ

アルケマ、植物由来ポリアミド11のグローバル製造チェーンにおける二酸化炭素排出量のさらなる削減を継続

アルケマグループは、再生可能エネルギーや低炭素エネルギーの使用、製造施設でのエネルギー効率改善により、植物由来 Rilsan® ポリアミド11グレードの二酸化炭素排出量をさらに46%削減し、2kg CO₂e/kg (1) 未満に達しました。これは、化石資源由来の同等材料や従来のエネルギー源を使用したポリアミド樹脂と比較して約70%の削減を実現したことになります。

再生可能なトウゴマの種子から得られるRilsan® ポリアミド11は、100%バイオベースです。さらに、そのアミノ11モノマーと、このモノマーから得られる各種ポリマーは、低炭素エネルギーと再生可能エネルギーを高い割合で使用して製造されています。

アルケマは、今年1月にフランスENGIE社とのバイオメタン供給契約を発表しました。また、昨年にはポリアミド11チェーンの生産拠点でエネルギー効率の改善を実施しました。

「これはアルケマのお客様と弊社が関わる市場にとって重要なステップになります。本日発表した二酸化炭素排出量の削減は、特定のグレードや製造拠点のみではなく、世界のアルケマの製造全体に適用されます。これにより、お客様は脱炭素化への取り組みを実行し、より持続可能な製品を大規模に開発できるようになります。アルケマはさらなる脱炭素化の実行計画として、2030年までに二酸化炭素排出量をさらに 50%削減するという目標を掲げています。私たちの目標は、市場で二酸化炭素排出量が最も低い高機能素材をお客様に提供し続けることです。」

ハイパフォーマンスポリマー事業部門 シニアバイスプレジデントエルワン パズロン

この削減は、より持続可能な原材料・エネルギー源・製造プロセスを組み合わせることにより二酸化炭素排出量をこれまで以上に削減し、気候変動への影響を低減するというアルケマの取り組みにおける大きな一歩を表しています。

(1) ISO14040、14044、および 14067準拠で、2Kg CO₂e/kg

アルケマは、材料科学における独自の専門知識を基に、新しい持続可能な材料の高まる需要に応える最高レベルの技術ポートフォリオを提供します。アルケマグループは、2024年までにスペシャリティ材料の純粋なプレーヤーになるという野心的な目標を掲げています。当グループの2022年売上は、約85.5%を占めるスペシャリティ材料に特化した相補的で回復力があり極めて革新的な3つのセグメント(接着剤ソリューション、先端材料、コーティングソリューション)と、地位を確立した競争力のある中間体セグメントで構成されています。アルケマは最先端の技術的ソリューションを提供することで、特に新エネルギー、水へのアクセス、リサイクル、都市化およびモビリティという課題に対応するとともに、全てのステークホルダーとの持続的な対話を促進します。当グループの2021年売上高は約115億ユーロで、世界約55カ国で21,100名の従業員が事業に従事しています。

Investor relations contacts

Béatrice Zilm +33 (0)1 49 00 75 58 beatrice.zilm@arkema.com
Peter Farren +33 (0)1 49 00 73 12 peter.farren@arkema.com
Mathieu Briatta +33 (0)1 49 00 72 07 mathieu.briatta@arkema.com
Caroline Chung +33 (0)1 49 00 74 37 caroline.chung@arkema.com

Media contact

Anne Plaisance +33 (0)6 81 87 48 77 anne.plaisance@arkema.com

¹ less than 2 kg CO₂e/kg according to ISO14040, 14044 and 14067